

## 高所作業用救助資器材一式仕様書

### 1 総則

- (1) この仕様は、山武郡市広域行政組合消防本部（以下「当消防本部」という。）が、令和7年度に購入する高所作業用救助資器材一式の必要な事項について定める。
- (2) 購入物品及び数量については別紙一覧表のとおり。

### 2 仕様

#### (1) フルボディハーネス

- ア 下降器に直接荷重をかけられる構造とすること。
- イ ウエストベルトに荷重がかかった際に、荷重を肩に分散する構造とすること。
- ウ 側部アタッチメントポイントは金属製とし、用具の連結がしやすく不意の引っ掛かりを防ぐ構造であること。
- エ 各種ベルト及びストラップについては、グローブを着用した場合でも容易に操作ができるものであること。
- オ 各種ギアの整理及び携行がしやすい構造とすること。
- カ 国内の「墜落制止用器具の規格」（フルハーネス）に適合したものであること。

#### (2) ランヤード

- ア 墜落時、使用者にかかる衝撃荷重を抑える構造であること。
- イ 長さは80cmとする。
- ウ 摩耗や汚れを保護する仕様とすること。
- エ 国内の「墜落制止用器具の規格」（第2種ショックアブソーバ）に適合したものであること。

#### (3) 下降器

- ア 誤作動防止機能を備えること。
- イ パニック防止機能を備えること
- ウ 引き上げと下降が切替可能な構造とすること。
- エ ロープが触れる部分はステンレススチールで補強し耐久性を高めること。
- オ 重量250kgまでの下降に耐えるものであること。
- カ 直径10mmから11.5mmまでのロープが使用できるものであること。

#### (4) 墜落制止用器具

- ア 手で操作しなくてもロープ上を上下両方向に移動できる構造であること。
- イ ロープ上のどの位置にも簡単に取り付けることができる構造であること。

#### (5) シングルプーリー

- ア グローブを着装したままでも素早く簡単に操作できるものであること。
- イ 支点に取り付けた状態でロープを設定できる構造であること。

ウ 荷重がかかった状態でもプーリーの向きが変えられるよう、スイベルを付けること。

エ 対応できるロープについては、最小径 7 mm、最大径 13 mm を満たすもの。

オ 滑車の直径は 25 mm 程度であること。

(6) ダブルプーリー

ア グローブを着装したままでも素早く簡単に操作できるものであること。

イ 支点に取り付けた状態でロープを設定できる構造であること。

ウ 荷重がかかった状態でもプーリーの向きが変えられるよう、スイベルを付けること。

エ 対応できるロープについては、最小径 7 mm、最大径 13 mm を満たすもの。

オ 滑車の直径は 38 mm 程度であること。

3 検査

当消防本部職員の外観検査及び機能検査に合格しなければならない。検査の結果、不合格と認められた箇所については、速やかに修復、補強及び交換のうえ検査を受けるものとする。

なお、これらに係る一切の費用については、売渡人の負担とする。

4 保証

保証期間は 1 年とする。ただし、設計不良、工作不良若しくは材質不良に起因する不具合箇所が発見された場合は無償修理又は交換を行うこととする。

5 納入場所

名称 山武郡市広域行政組合消防本部

住所 千葉県東金市家徳 384 番地 2

6 納入期限

令和 7 年 8 月 29 日（金）まで

7 その他

本仕様書について疑義が生じた場合は、当消防本部と協議すること。